

金具付ドア取扱い説明書



商品取扱いマニュアル NOB-01

目 次

各部の名称	P.1
ご使用上の注意とお願い	P.3
操作方法	P.4
調整方法	P.5
金具付ドア取付方法	P.7
Q & A集	P.14
対処方法	P.17

- ◆ 下記、付属金物を別梱包にて納品させていただきます。
御確認をお願いします。

※ 付属金物明細

金具付ドア用六角レンチ	1本
ドアクローザー用専用金物	1本

※ 鍵(別梱包)

Aタイプ(握り玉錠の上部につけています)	3本
Bタイプ(押し棒の上部につけています)	3本

各部の名称

Aタイプ

【外観写真】

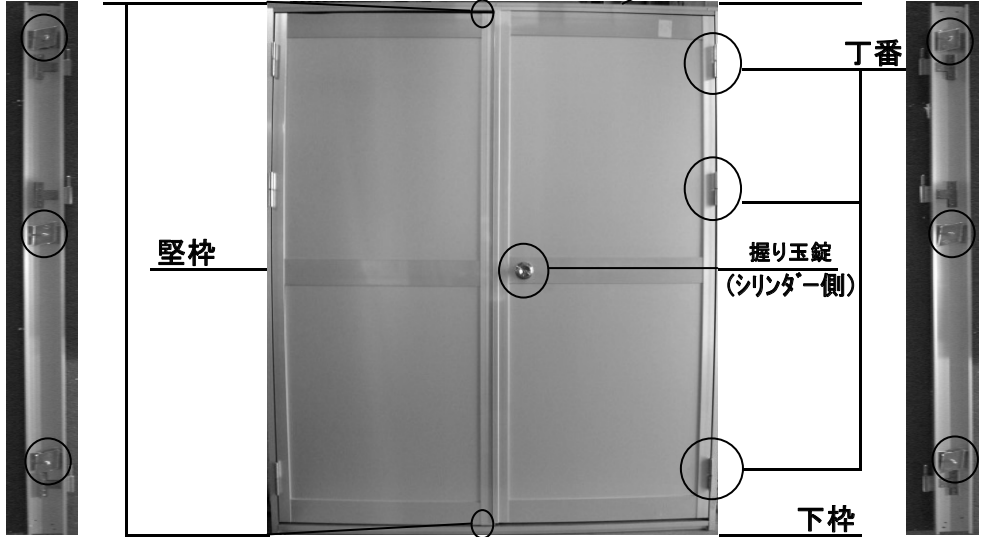
金具位置

フランス落し

水切

上枠

金具位置



【内観写真】

ドアクローザー

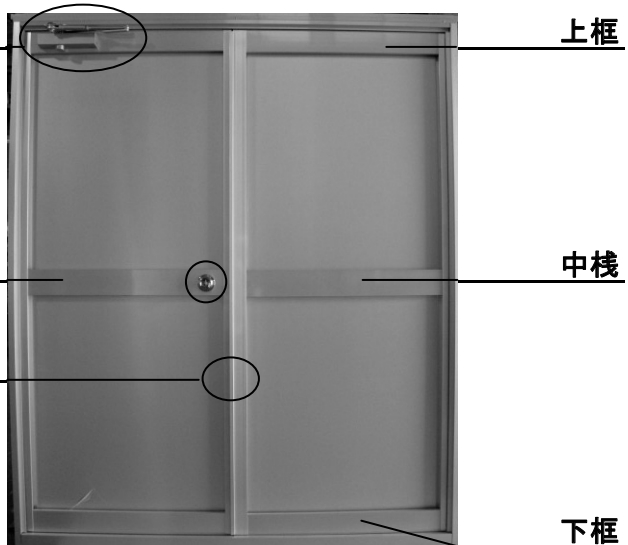
上枠

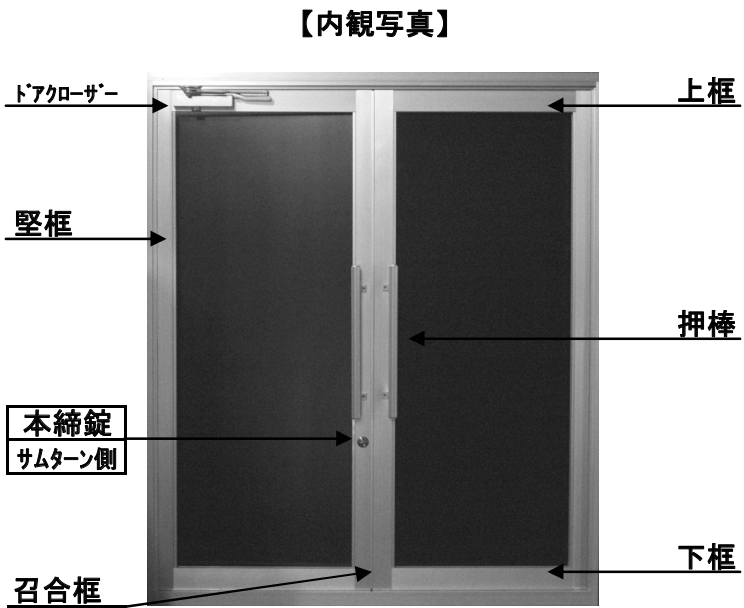
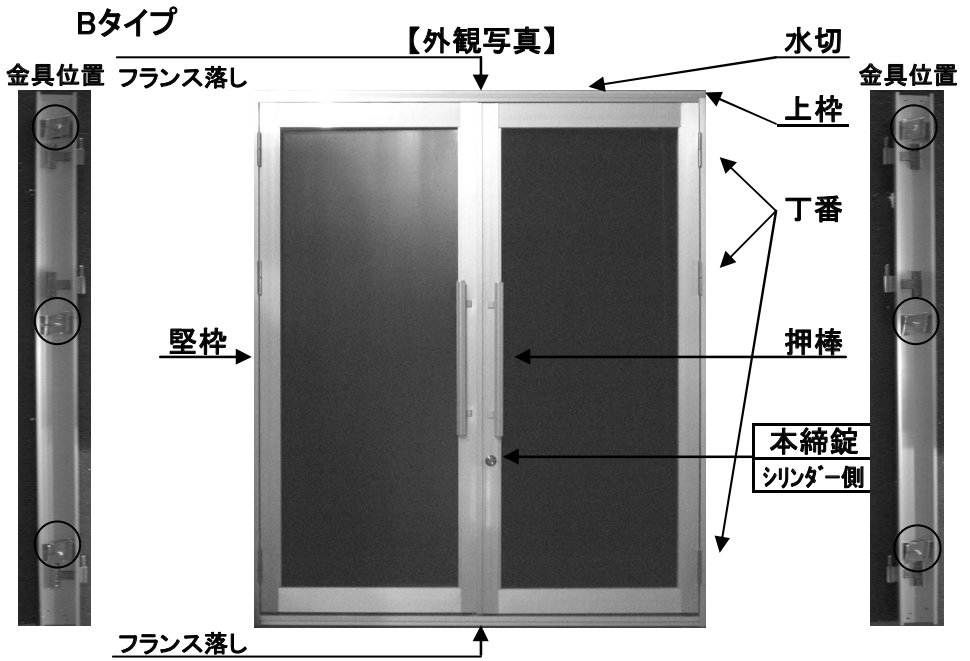
堅框

中棧

召合框

下框





ご使用上の注意とお願い

ご使用いただく時のチェックポイント

- ドアは確実に納まっていますか。また、枠との隙間はありますか。
- 施錠は確実にできていますか。
- ドアはスムーズに閉りますか。

ケガの防止

- 風の強い時はドアを閉めて、必ず錠を掛けてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やケガにつながる恐れがあります。
- ドアの開閉時には、丁番側の隙間に手を置かないでください。指を挟んで大ケガの恐れがあります。ドアの先端に手を置くと突風等でドアが急に閉まった時ドアと枠の間で指を挟み思わぬケガをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉は、必ず握り玉又は押し棒を持って操作して下さい。

破損・故障の防止

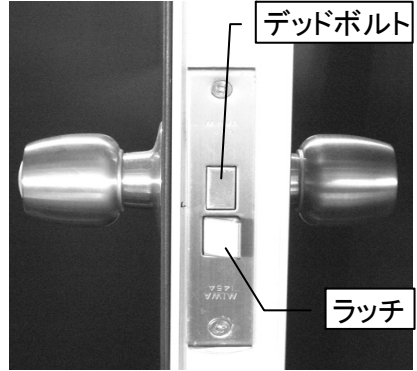
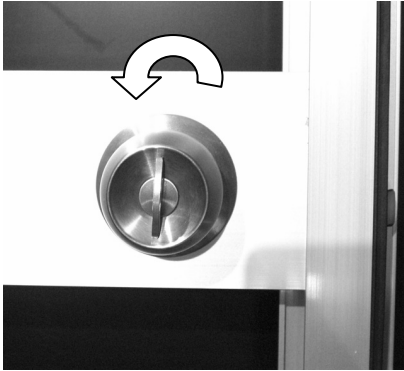
- 下枠レールは砂やホコリが溜まりやすいところです。砂やホコリは開閉の妨げになりますので常に掃除を行い下枠部に異物がない事を確認して下さい。
- ドアクローザーによって閉じかけているドアを強く押したり引いたりしないで下さい。取付ネジや吊金具のネジのゆるみにつながります。

メンテナンス

- シリンダーの鍵穴への抜き差し回転の操作がスムーズに動かなくなったら黒鉛粉(鉛筆の芯を削った粉で可)を鍵にまぶして、何度か繰り返し鍵穴に差し込んで下さい。
- 鍵穴に油や異物を入れないで下さい。鍵の操作が出来なくなります。
- 掃除の際、酸やアルカリや塩素等の化学薬品は使用しないで下さい。

操作方法

握り玉錠(Aタイプ)



本締め錠(Bタイプ)



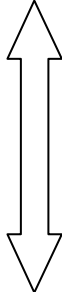
フランス落とし(A・Bタイプ共通)

上部



開

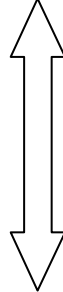
下部



閉



閉

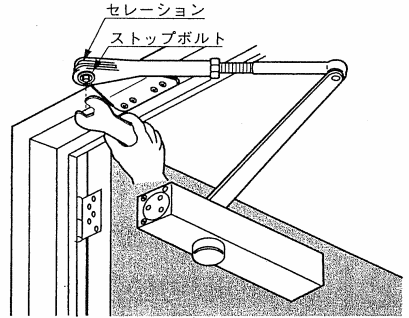
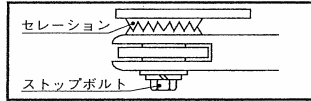


開

調整方法

ストップ角度の調整方法。

- ① ドアをストップさせる角度まで開き、ストップボルトをきつく締付けます。
- ② 締付けるときは、ストップ装置のセレーション部のかみ合いを確認してください。かみ合いの悪い場合は、ドアを少しゆすりながら、ストップボルトを締め付けてください。

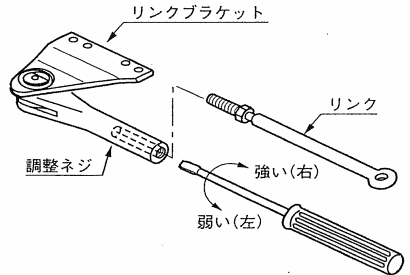


⚠ 注意 ストップボルトの締め付け力が不足していると、ストップ装置の故障の原因になります。

ストップ強さは、調整済みです。

あらかじめストップの強さは、調整済みです。調整が必要な場合は、ストップ装置にねじ込まれているリンクを外し、調整ネジをドライバーで左右いずれかに回転します。

- 右に回すとストップ力は強くなります。
- 左に回すとストップ力は弱くなります。



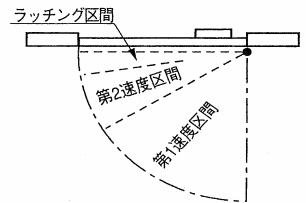
⚠ 注意 調整ネジを左右1回転以上回さないでください。故障や思わぬ事故の原因になります。

ドア閉じ速度の調整方法。

1. 閉じ速度の調整

- 閉じ速度は、第1速度区間及び第2速度区間、それぞれ個別の調整弁で行います。
- 速度調整弁を回転させて標準速度（ドアの開き角度90°位置から完全に閉じるまでの間を5～8秒）に調整してください。

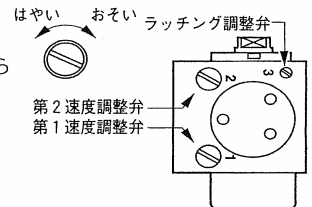
△調整弁は左へ1回転以上回転させないでください。



2. ラッチング区間の角度調整

- ラッチングとは、ドアが閉鎖位置手前（約3°）まで来た時点で、ドアを素早く閉める機能です。風が強くドアが閉まりきらない場合等に使用します。
- 調整弁を反時計方向に回転すると、素早くドアが閉まります。

△調整弁は左へ2回転以上回転させないでください。



⚠ 注意 各調整弁は、ゆるめすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬ事故を起こす危険があります。また、油もれを起こし、正常に機能なくなります。

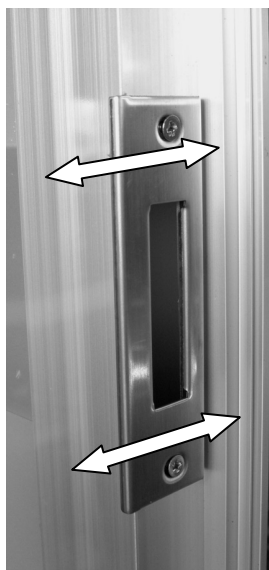
ストライクの調整

鍵の掛りが、悪い場合(鍵受けの調整)

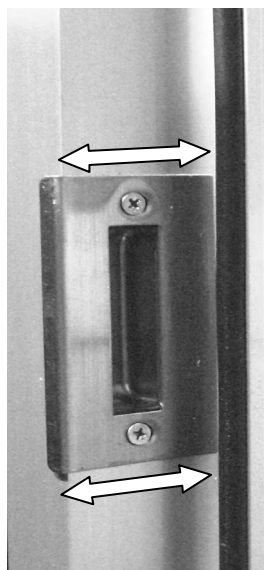
一度、上下のビス緩め調整して下さい。

左右約1mm～2mmの余裕があります。

両開き用



片開き用



注意:ビスを緩めすぎると鍵受け内の金物が外れ調整不能
となりますので気を付けて下さい。

金具付ドア取付方法

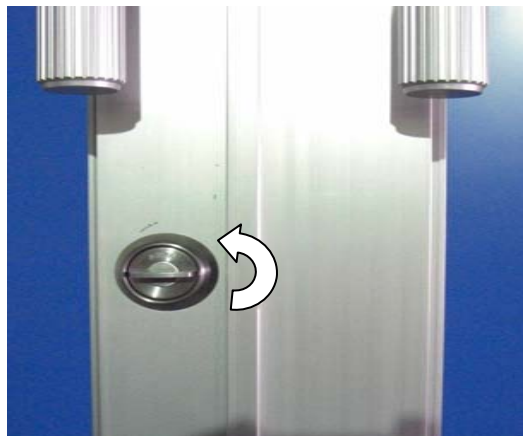
本製品は、納品時 枠・ドア本体はセットされた状態ですので
取付時は、枠と本体を外して作業して下さい。

1.納品時 錠前は、施錠されていますのでサムターンを回して
開錠して下さい。

Aタイプ



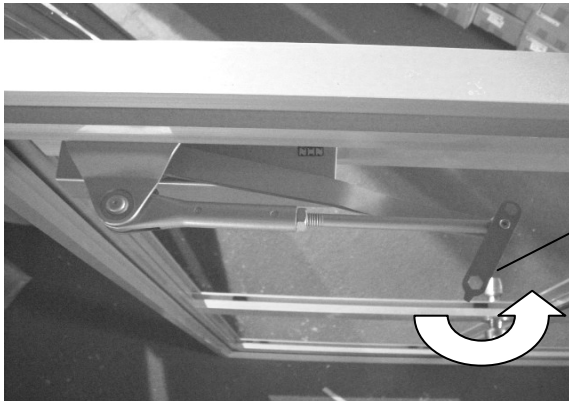
Bタイプ



2.ドアクローザーを外します



①専用金具でビスを外します。



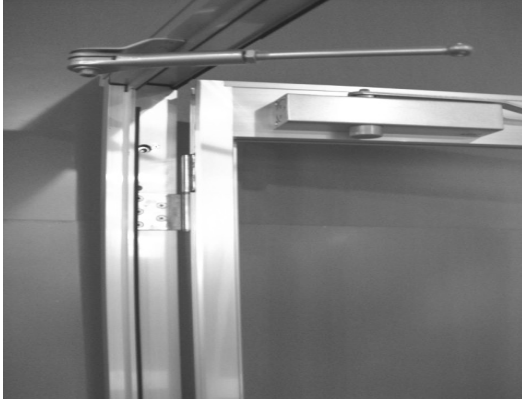
※上から見た時

専用金具(同梱包)



②写真の様にビスを外し
ドアをフリーの状態に
します。(固定側のドアは、
フランス落しを開錠して
下さい。)

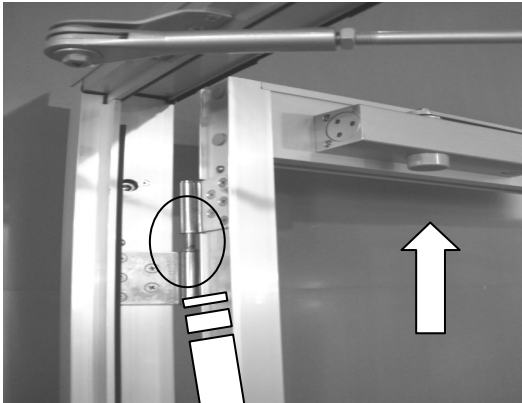
3.ドア本体を外します



③写真の様にドア本体を90度に関き
ドア本体を外します。

(固定側のドアも同じ様に)

※写真は、上段上框部分です。



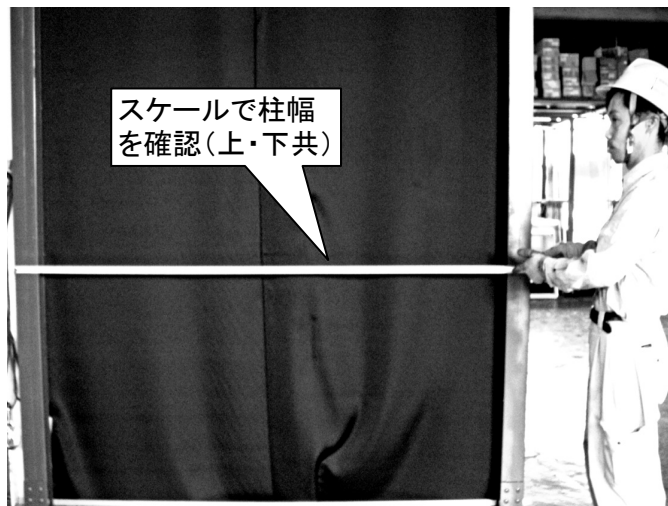
④ドア本体を持ち上げ外します。

(スライドして丁番が外れます)



ピックアップ写真

4.取付位置及び柱幅の確認



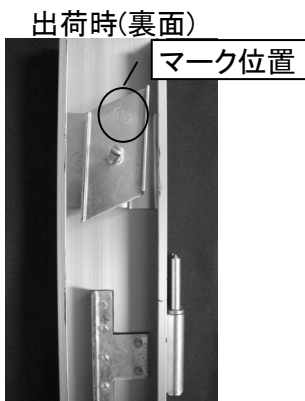
スケールで柱幅を確認(上・下共)

※金具の取付前セット

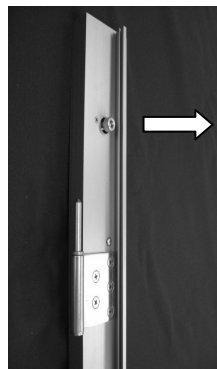
六角レンチ(出荷時同梱包)で金具を緩め
 下図の様に左右のマークをセットして下さい。



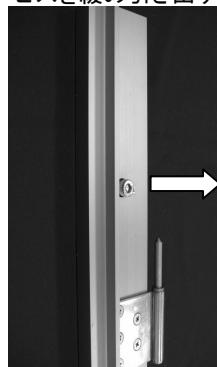
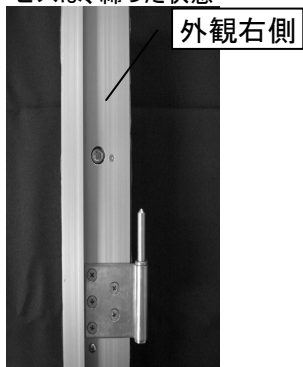
ビスは、締った状態



ビスは、締った状態



ビスを緩め引き出す

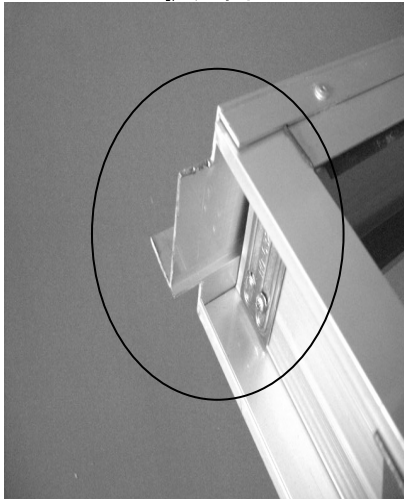


5. 枠の建て込み



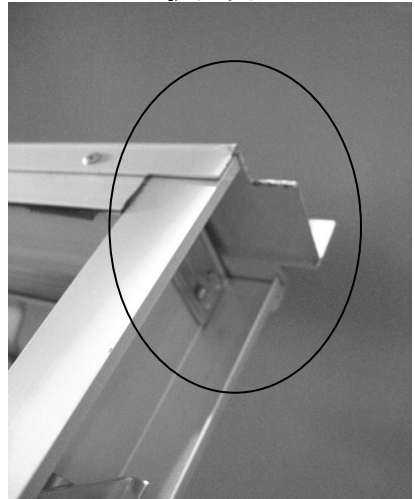
注: 写真撮影の為、作業員1名であります
が現場状況に応じて2名での作業が、
必要です。

拡大図



外観左側

拡大図



外観右側



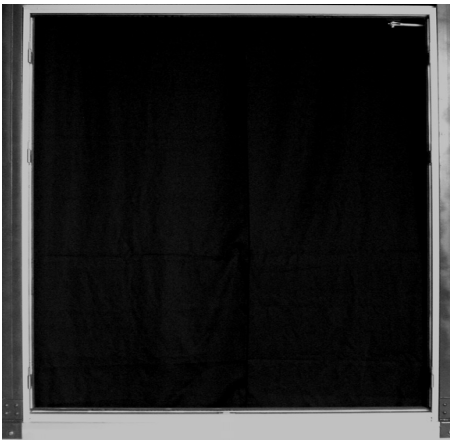
上枠の水切が納まった時点で、滑らす様に上げ写真の様に柱内に建て込みます。

外観左枠

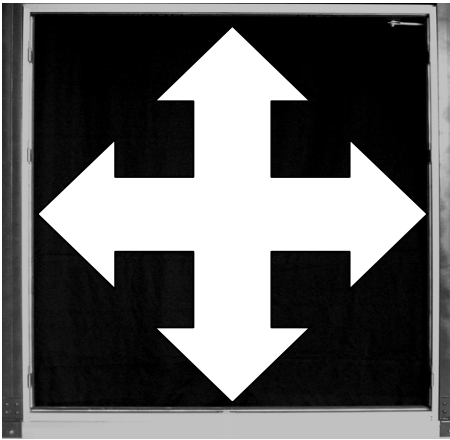
外観右枠



後は、左右6箇所のボルトを六角レンチで固定し作業完了。



枠の建て込みが、完了しました。



建て込み後、W・Hの寸法を確認して下さい
出来れば対角寸法も確認し、ドア本体を
吊り込む時は逆の手順で行って下さい。

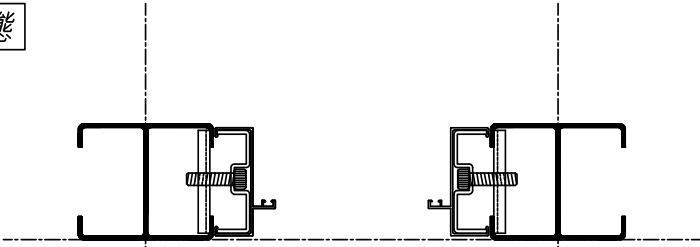


ドア本体を吊り込み施工完了
鍵の掛り・ドアクローザーの調整を行って
下さい。

Q & A集

現象	考えられる原因		対処方法
キーの差込が固い 又は、差込んでも スムーズに操作 出来ない	合鍵と正規のキーとが一致 していない	⇒	正規のキーで 操作して下さい
	キーが変形している	⇒	施工店又は ハウスメーカー 様に修理を依頼 して下さい
扉の開閉速度が 変わった	ドアクローザーの調整速度が ズレた	⇒	ドアクローザー の速度を調整 して下さい (P.5参照)
開閉時に扉が枠 に当る擦る	枠が歪んで取付されている	⇒	レベル・対角を 再度確認して 下さい
扉が完全に閉まり きらない	鉄骨柱の向きが違っている		別紙対処法① 参照
鍵が掛らない又は 掛りが浅い	鉄骨柱の芯々寸法又は鉄骨 柱の向きが違っている	⇒	別紙対処法② 参照
	ラッチ又はデッドボルトと ストライクの位置が合っ ていない	⇒	ストライクの調整 (P.6参照)
扉の戸先どうしが 当って開かない	鉄骨柱の向きが違っている	⇒	別紙対処法③ 参照

正規の状態



①の状態

柱の芯々が広い状態



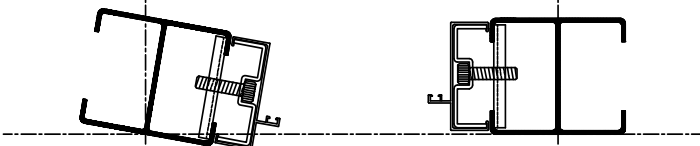
②の状態

柱が歪んでいる状態

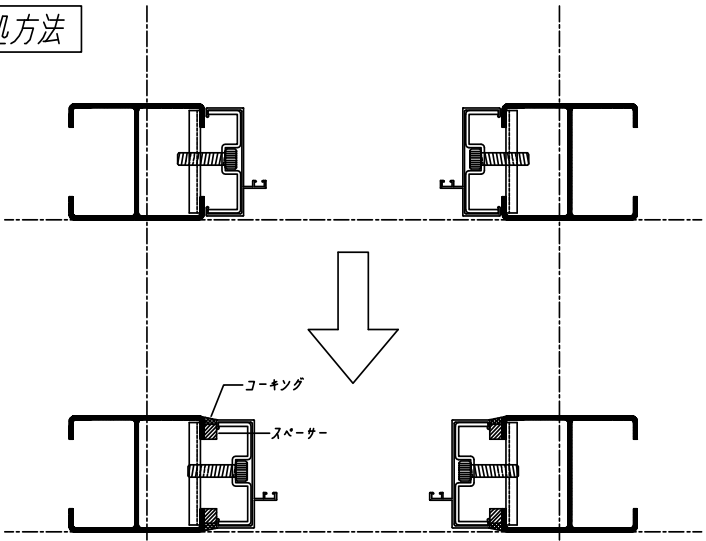


③の状態

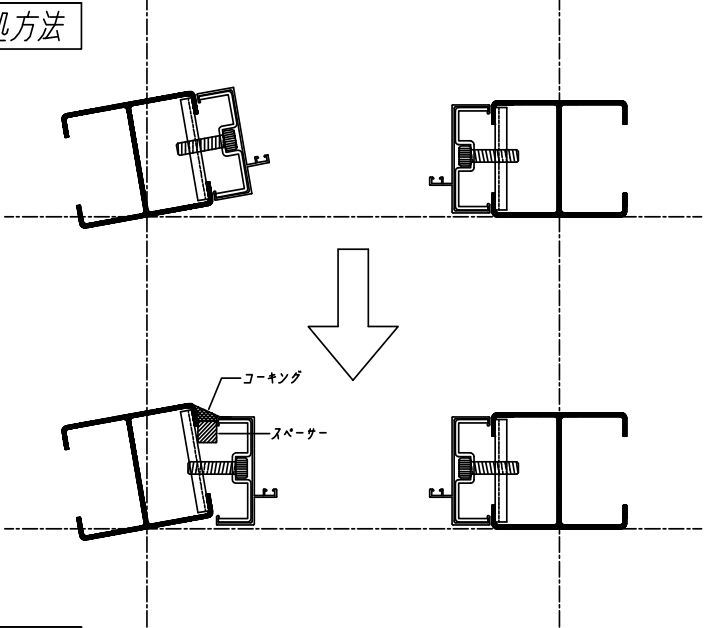
柱が歪んでいる状態



①の対処方法



②の対処方法

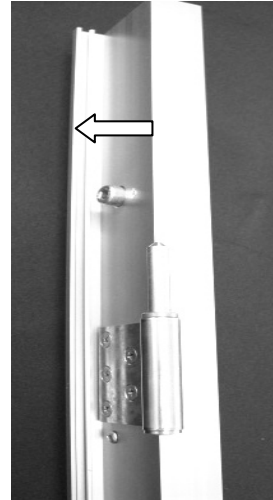
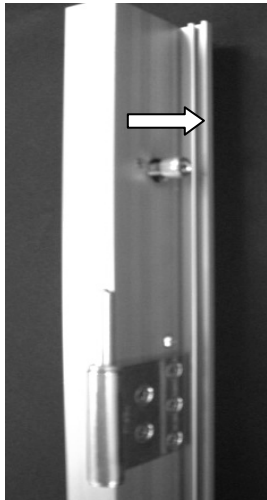


③の対処方法

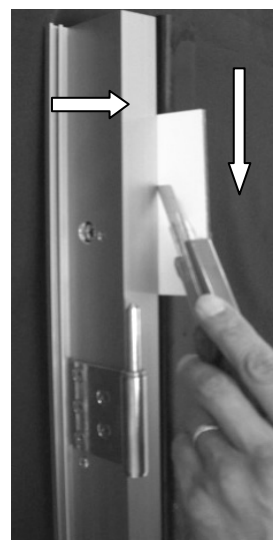
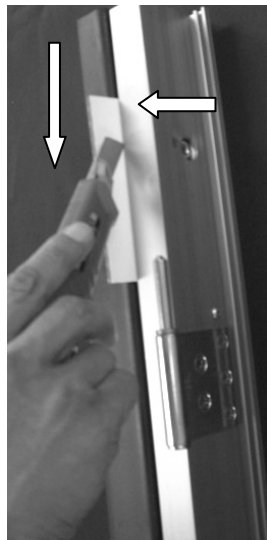
③の時は建具調整では対処不能ですので鉄骨建方の再調整で対処して下さい。

対処方法

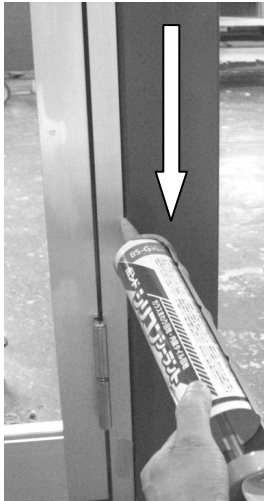
①、②の場合



◆金具を左右6箇所緩め、その状態で扉が閉まり鍵の掛りを確認します。



◆枠とリップエッジの隙間にスペーサーを入れ金具を締め込み調整します。



◆調整後、外部面にコーキング処理をして完了。



サッシで刷新 サッシは信田屋

株式会社 信田屋

美原営業所/〒587-0011 大阪府堺市美原区丹上410 TEL 072-361-5460
FAX 072-362-0533
<http://www.nobutaya.co.jp>